

# 日経テレコン



日経テレコンとは、日本経済新聞が提供する新聞記事データベースです。国内外の記事情報が1億本以上検索できます。国内外で50万人以上のビジネスパーソンも利用しているデータベースです。

**ログインはどちらかのアイコンをクリック  
同時に利用できるのは2人まで。**

**この画面が表示されたら  
このまま送信をクリック**

送信しようとしている情報は保護されません  
このフォームは安全ではない接続を使用して送信されているため、情報が他人に読み取られる可能性があります。

【参考】『日経テレコン』の学生向けページ  
▽就活サクセスガイド  
自分に合った企業の探し方、社会や経済の動きの把握、  
を利用する。  
▽レポートサクセスガイド  
レポート・論文のレベルを上げるために『日経テレコン』を

## 検索画面の見方

**記事検索をクリック**

**終了時は必ずログアウトをクリック!!**

ここにキーワードを入力して検索します。  
2つ以上のキーワードを入れて検索する場合は、A(スペース) Bと、単語と単語の間にスペースを入れます。

**記事検索は、ピンポイント  
に記事を検索できます。**

**ナビ型記事検索はテーマや検索期間の  
絞り込みなどから検索できます。**

キーワードを入力してください

検索

分類から選ぶ

企業活動 政治 経済 技術 社会 業界 地域 記事種別

検索条件

初期の検索条件 現在の検索条件を保存  特定の記事を除く

1年 全期間 20210911 ~ 最新

すべての媒体を選択/解除 媒体を探す

新聞  調査・統計・マーケティング

日経各紙  統計情報

メインコンテンツ

- ホーム
- 記事検索
  - 記事検索
  - ナビ型記事検索
- 企業検索
- 人事検索

ニュース・最新情報

- ニュース
- きょうの新聞
- アジア経済ニュース

データ&ランキング

専門情報

テーマフォルダ

ホーム

記事検索

キーワードを入力してください

検索

分類から選ぶ

企業活動 政治 経済 技術 社会 業界 地域 記事種別

検索期間を選択できます。

検索条件

初期の検索条件 現在の検索条件を保存

期間

1か月 3か月 6か月 1年 全期間 20180625 ~ 最新

すべての媒体を選択/解除 媒体を探す

すべての展開 折りたたむ

新聞

日経各紙

- 日本経済新聞朝刊
- 日本経済新聞夕刊
- 日経産業新聞
- 日経MJ (流通新聞)
- 日経金融新聞(※)
- 日経地方経済面
- 日経プラスワン
- 日経マガジン(※)

調査・統計・マーケティング

検索結果件数

281件です

新しい順

20件ずつ

見出しを表示

見出しを表示をクリックすると、検索結果をみることができます。

新しい記事順に最大400件まで検索結果が表示できます。

再検索

絞込みキーワード候補 (記事数)

社会問題	26	加工食品	11	国連	6	改善	14
事件・裁判	26	電力・ガス	10	OECD	6	政府統計	13
経済活動	20	建設	10	法務省	5	インタビュー	12
雇用動向	19	商社・卸	9	日本経済新聞社	4	社長	12
研究開発	10	大型店・コンビニ	9	トヨタ自動車	4	長時間労働	11
社会政策	10	銀行・信用金庫	8	コマツ	4	施行	10
販売・営業	9	新聞・放送・出版	8	ユニクロ	4	外国人	10
人材採用	9	電機・家電	7	細井正	4	女性	9
外交	8						

分類から選ぶ

企業活動 政治 経済 技術 社会 業界 地域 記事種別

検索条件

初期の検索条件 現在の検索条件を保存

期間

1か月 3か月 6か月 1年 全期間

すべての媒体を選択/解除 媒体を探す

すべての展開 折りたたむ ヒットした媒体を表示

新聞 (281)

日経各紙 (281)

- 日本経済新聞朝刊 (103)
- 日本経済新聞夕刊 (20)
- 日経産業新聞 (63)
- 日経MJ (流通新聞) (21)

調査・統計・マーケティング

統計情報

- 日経NEEDS統計データ

マーケティング情報

- 日経POS情報・売れ筋商品ランキング

各誌毎に記事数が表示されるので読みたい新聞をクリック

### 検索結果の見方

見たい記事を☑して一括チェックすると読みたい記事がまとめて表示されます。

同じ連載や特集があれば、一覧に表示されます。

一括チェック [本文表示](#) [PDF表示](#) 記事保存 全ページ解除

12件です 新しい順 に 20 件ずつ 見出しを表示  本文の一部を表示  画像表示

一括チェック [本文表示](#) [PDF表示](#) 記事保存 全ページ解除

一括チェック [本文表示](#) [PDF表示](#) 記事保存 全ページ解除

### 本文表示画面

ここをクリックするとPDFで紙面が表示されます。

検索キーワードに色が付きハイライトで表示されます。

見出し一覧に戻る [本文を別画面に表示](#) 印刷

中小の高離職率——給与や待遇、主因じゃない？（就活のリアル） [PDF表示](#)

2017/12/25 日本経済新聞 夕刊 9ページ 963文字 [+ その他の書誌情報を表示](#)

海老原嗣生

ブラック大手企業と中小企業の高離職率は、根本からしてその構造が異なる。

ブラック大手は、半ば確信犯的に高離職率を黙認し、一方、中小の高離職率は、不可抗力で起きているからだ。その違いはこんなところから発する。

まずブラック大手は、CMなどで知名度も高く、企業規模が大きいということで、学生たちの応募も集まりやすい。なので高離職率になっても構わない。

ハードに働かせ、ついてこれない社員はさっさと辞めてもらう。そうすれば優秀層のみ残るし、常に経験が浅く給与が安い人が多くなり、人件費も抑制できる。こんな算段がある。

夏休み明けでもまだ大々的に新卒採用を行っている大手は、こうしたタイプの企業がま含まれる。

離職率が高いから欠員が多く、なかなか採用充足できないことや、そこまで人気がないから、応募者確保に長期間必要なことなどがその理由だ。「大手ならどこでもいい」という考えでこうした時期に

一方、中小は応募者が少ない中で、ようやく採用できた金の卵であり、無為に

離職してしまう。その後の補充はままならないから途方に暮れる。

事情は全く異なるだろう。

こんな「背に腹は代えられない」状況なのになぜ、中小企業は若年離職率が高くなるのか。

「給与や待遇が大手に劣るからだ」「オフィスや設備機器など労働環境の問題もある」「各種制度が未充実で、ワークライフバランスなども整わない」。そんな声が聞こえてきそうだ。

メインコンテンツ

- ホーム
- 記事検索
- 記事検索
- ナビ型記事検索
- 企業検索
- 人事検索
- 最新情報
- 業界・テーマ
- スペシャルコンテンツ
- テーマフォルダ

記事検索(労働環境)

新規 労働環境 再検索 履歴

12件です 新しい順に 20件ずつ 見出しを表示 本文の表示 画像表示

一括チェック 本文表示 PDF表示 記事保存 全ページ解除

1-12/12件 <<先頭 <戻る 次へ>

中小の高離職率——給与や待遇、主因じゃない？(就活のリアル) PDF表示

2017/12/25 日本経済新聞 夕刊 9ページ 絵写表有 963文字 PDF有

電通、未払い残業代支給、一時金名目で総額2.3億円。 PDF表示

2017/11/28 日本経済新聞 夕刊 14ページ 568文字 PDF有

気鋭歌人の群像(2)劣化する労働環境での生活投影——心は人間性を希求(鑑賞術)

同じ連載・特集(4件)

2017/10/11 日本経済新聞 夕刊 16ページ 絵写表有 1592文字

政権託す先は、待機児童1位・東京6区、「仕事諦めぬ社会に」(衆院選2017) PDF表示

2017/10/10 日本経済新聞 夕刊 19ページ 絵写表有 2046文字 PDF有

PDF表示を直接クリック

PDF表示

OKをクリック

PDFを表示します。

OK キャンセル

PDF 表示画面

就活のリアル 海老原 剛生

ブラック企業と中小企業の高離職率。未払い残業代やブラックな労働環境、無償でその構造的なブラックな労働環境に陥る。一方、中小の高離職率は、不可抵抗で起きているから、その違いは、なんとどうから発する。

まずブラック大手は、CMなどで知名度も、企業規模が大きいということ、学生たちの応募も集まりやすい。なので高離職率になっても構わない。

ハードに働かせ、ついでにそれなりの給与を払って辞めさせ、その後は優秀な人材を確保し、常に給与が低く給与が安い人が多くなり、人件費も抑制できる。こんな算段がある。

夏休み明けでもまだ大々的に新卒採用を行っている大手は、こうしたタイプの企業がままみられる。

離職率が高いから欠員が多く、なかなか採用不足でないこと、そもそも人手が必要なところが、その理由だ。「大手ならどうもい」という考えで、こんな時期にこんな企業をチョイスするのは避けた。

一方、中小は応募者が少ない中で、ようやく採用できた金の卵であり、無償に辞めてもらっては困ると考える。そのことが離職してしまふ。その

**中小の高離職率 給与や待遇、主因じゃない？**

後の補充はままならないから、途方に暮れる。事情は全く異なるだろう。こんな「再」に雇は代えられない状況になせ、中小企業は若年離職率が高くなるのか。

「給与や待遇が大手に劣るからだ」「オフィスや設備機器など労働環境の問題もある」「各種制度が未充実で、ワークライフバランスなども整わない」、そんな声も聞かされてきた。

いつもながら、また私のいわゆる常識批判が始まってしまふ。こうした若年離職者が転職で入る次の会社は、そんなに条件の良い企業なのだろうか。それはないだろう。

賃金構造基本統計調査などを見れば、転職ではむしろ賃金などは下がることが多い。常識的に考えても、中小企業に働いていた人が、転職したら超大手に入った、などという例は、圧倒的少数と言わざるを得ないだろう。

つまり、規模も給与も待遇も環境も、格段に改善されるはずもなく、似たようなプロファイルの企業に入ることになる。なのに、こんな転職を1.3回程度するうちに、大半の若者は一つの会社に落ち着くことになる。

そこに隠れている離職者の真実を、次回以降、語りたいと思う。

(雇用ジャーナリスト)